

おはつら

令和3年3月19日(金) 第53号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

卒業のその日におきて…

6年生の教室の黒板に書かれていたカウントダウンの数字が今日は「2」。卒業の日が目前に迫ってきました。

卒業生を送る会や旅立ちの集いなどの行事を

終えるごとに6年生の表情が引き締まり、卒業に向けた心の準備が整ってきていることがうかがえます。卒業式の練習が始まる際、担任の先生が校長から子ども達に話をする機会を設けてくれました。そこで、印象深い卒業生の姿を紹介し、小学校6年間の感謝の気持ちを言葉だけでなく、返事や歌、立ち居振る舞いなど全身で伝える場であること、そうした姿を在校生に見せることが学校の伝統を引き継ぐことになることを話しました。

今週の水曜日には卒業式の予行練習を行い、入退場や証書授与、別れの言葉、式歌など式の流れに沿って確認をしました。

練習が長い時間に及んでも、びんと背筋を伸ばし、一瞬も姿勢を崩さずにいる2人の6年生の様子から、素晴らしい卒業式になることを確信しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お世話になった方々に出席いただくことは叶わず、式の最中もマスクを外すことができない状況ですが、最大限の準備を整え、式当日を迎えたいと思います。



ふるさとCMが完成しました!

小金井市の大熊教育長と電通のみなさんのご指導によるCMづくりの授業が終了し、子ども達のふるさとCMが完成しました。

予定では5回の授業だったはずが、2回の延長戦があり、計7時間、子ども達は考えに考え抜きました。「コロナ禍」を通して、改めて伝えたい「ふるさと桶売」の良さ。はじめは自然やおいしい食べ物、歴史、文化など、総合的な学習の時間に学んだことを宣伝したいと考えていた子ども達でしたが、考えを深めていく中で「コロナ禍」で見えてきたものがありました。

それは、いつも私たちが気にかけ、あたたかい言葉をかけてくださったり、学習に関わってくださったりする「地域のみなさん」のこと。

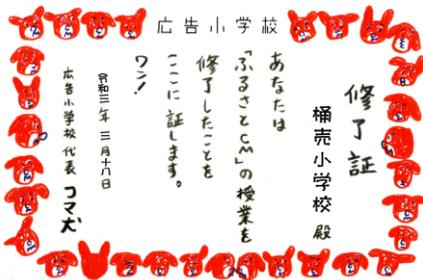


「あざごほん、たべた?」「はい!」

新型コロナウイルス感染症でみんな不安な中、自分のことを後まわしにしても他人を大切にする「人と人とのつながり」が1番に自慢できる宝物だというのが子ども達の結論です。

完成したCMを学校ホームページで公開しましたので、ぜひご覧ください。桶売小学校の子ども達と教員、オールキャストです。

たくさんの人に見ていただきたい素敵なCMができました。



リアルタイム線量測定システムの数値 (校庭)

0.085 μSV/h 3/19 11:00

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

